



地域新聞

# ひまわり

社会福祉法人ひまわりっこ  
ひまわり保育園

長岡京市調子2丁目88-1  
075-205-5337  
<https://himawarikko-nagaokakyo.jimdo.com>



2022. 2 No.10

地域のみなさま、こんにちは。ひまわり保育園です。節分の豆まきが済み、立春も過ぎましたが、まだまだ冬真っ只中。ピリッとした空気がとても寒く冷たい毎日です。積雪量も各地で例年より多いそうですね。

しかし、それよりもとにかく新型コロナウイルスの感染拡大が気になります。昨年末にほっとしたのも束の間、またたく間に感染が拡大してしまいました。みなさまの中にもすでに感染された方が少なからず、いらっしゃると思います。どうか、軽症で早い回復をと心よりお見舞い申し上げます。

近隣地域でも学校や幼稚園、保育園等が休校休園となっているところが増えていています。保育体制の維持のため、園内での感染を少しでも防ぐために、まん延防止等重点措置の期間は、可能な範囲での家庭での保育にご協力いただく呼びかけもさせていただいています。ありがとうございます。

とにかく、子ども達や家族、職員にとって一番適切で安心な対応を、状況に応じて考えていく必要があります。そしてそんな中でも、子ども達にとっての一日一日が大切にされ、保障されるように、工夫をしていく必要があります。職員で知恵を出していきたいと思ひます。

年度末の行事に向けての活動や新年度に新しい子ども達を迎える準備も始まっています。少しずつ日が長くなり、陽射しは明るくなっています。春が来るのを楽しみに笑顔で過ごしていきたいです。

今後とも、ひまわり保育園をどうぞよろしく願いいたします。

園長 上原直子



## 今年の節分は……



2月3日は「節分」でした。ひまわり保育園にも毎年鬼がやってきます。しかし、今年は少し違いました。鬼からの手紙には……

「節分に行こうと思っていたが、風邪をひいてしまって、行けなくなった。風邪が治ったら必ず行くから、その時まで元気にまってるよ！」との事。そうなんです、鬼が風邪をひいてしまったのです。それを知った子どもたちは、「3日に来ないらしいよ」「よかったあ」という声も。中には「鬼さん大丈夫かなあ」と心配してくれる優しい子どもたちもいました。

ということで、今年は各クラスの先生が鬼に変身！先生と分かっているけども、泣いてしまう子どもたちもいました。迫力のある鬼だったようです。けれど、思いのほか豆を投げるのが強かったような……(笑)

本物の鬼は、いつやってくるのでしょうか？子どもたちが、豆まきをしてくれたので「コロナ鬼」もどこかへ去ってほしいです。

今年も、無病息災で元気いっぱい過ごしていきたいです。そうそう、鬼さんもお大事に！！



鬼から手紙が来ました。大きな手のハンコも……鬼さん、早くよくなってね。



大好きなお友達が連れていかれちゃう。勇気を出して、助けるぞお！



鬼だぞお～！先生鬼だ、やっつけよう。鬼は外、福は内！！

節分といえば、火にくぐらせて炒り、邪気を払った大豆「福豆」を年の数だけ食べて「健康で幸せに過ごせますように」と願いますが、小さなお豆は窒息や誤嚥の危険性もあるため、お豆は食わずに、大豆からできているきな粉できな粉クッキーを食べました。「豆の匂いがする！」「おいしい！」と子ども達にも好評でしたよ。お家でも簡単に作れるきな粉クッキーのレシピを紹介します。是非作ってみてください。

**材料（約20枚分）**

・バター	50g	・薄力粉	60g
・砂糖	30g	・きな粉	15g
・牛乳	大さじ1		

※バターは溶かしておく  
※オーブンは170度に予熱しておく

**作り方**

- ①バターと砂糖を混ぜ合わせる
- ②①に牛乳を入れ混ぜて、薄力粉、きな粉を加えひとかたまりにする。冷蔵庫で生地を30分休ませる。
- ③生地を伸ばして好きな形に型抜きしてクッキングシートを敷いた天板に並べてオーブンで15分焼く



# 0歳児と1歳児の交流

0歳児クラスと1歳児クラスは隣同士にあり、毎日お互いの顔を合わせる機会は多いのですが、時々、0歳児クラスと1歳児クラスで一緒に遊ぶ時間も作っています。

この日は遊戯室で、ピアノに合わせて様々な動きをする「リズム」の日でした。0歳児の子ども達と1歳児の子ども達は向かい合って1時に座り、元気よく歌を歌った後、1歳児の子ども達から始めます。ピアノの音はみんな大好きで、お互いが“見てくれている”という意識から、(かこういっしょ見せた!!) (お兄ちゃんやお姉ちゃんみたいにした!!) という気持ちで芽生え、少し照れながらも床に転がって体を思いきり伸ばしたり、遊戯室いっぱいを円を描くように走ります。

その姿を、ジーンと見ていた0歳児の子ども達も真似をして、小さな体いっぱい表現します。最後は、一緒に手をつなぎたい相手を見つけて、前後にゆれながらお舟をこぎ“お舟はぎっちゃん”の姿はとて可愛いです。



# 異年齢クラス(2歳~5歳)

クラスごとに各年齢の子どもたちがいて、にぎやかな毎日を過ごしています。

運動会は3部制でお父さん、お母さんたちに成長を見せることができました。



秋は育てた野菜や旬の食べ物でクッキング。そして、今年も春から進めてきた各クラスバケツ稲チャレンジ!

昨年はクラスによって陽当たりが違い、生育に違いが出てしまったのですが、今年はひまわり保育園の前にあるひまわりガーデンの一面にバケツ稲を置いて、たっぷりお日さまをあげました。すると、ぐんぐん大きくなり、どのクラスもしっかりとした大きさに! ずずめから狙われても守り抜き、ついに出来上がったひまわり米。ごはん1人1さじに大人も子どもも感動させられたのでした。



クリスマスはステンシルや模造紙4枚の巨大ツリー、可愛いサンタがたくさん見守るお部屋となり、にぎわいました。



## 【ホッとできる環境に出逢って】

4月からの仕事復帰とともに、保育園入園を決断時は、新たに始まる生活にドキドキ。息子と一緒に何園も足を運んで保育園見学。子どもの成長を一番に考え、造られた建物、そしてとても温かい先生方の笑顔や声に、“絶対にはまり保育園に通わせたい”と強く願いました。夜になると興味を広げてきていた息子を見ていると、残りの育児休業をカットダウンしお休みの、保育園に行く日を心待ちにしていたことを思い出します。

そして、念願のひまわり保育園に通い出したら、

「親子ともに、本当に幸せ」ということでした。

登園時は泣くこともありますが、先生方に抱っこされると必ず泣き止む息子。おんねんやお迎え時の満面の笑みを見ると、おりの手を受け入れてもらえ、抱っこしてもらえ、おんねん息子にして“居心地のいい場所”にたどり着いたことに毎日感じます。たくさんの刺激をもらい、毎日変化していく息子の喜びのおかげで、毎日元気いっぱいの子供たちを見守り続けてくださる先生方には感謝がいっぱいです。

先生方から聞いた話や連絡ノートをもとに、やりとりが出来るようにお休みの息子と、湯舟に浸かれば、今日の出来事、話を時間が何よりも楽しい今日この頃です。

親子ともに、ほんたにかホッとできる空間の保育園。

息子に負わず、私も成長できるように頑張ろうと思います!



保護者の方からあたたかいメッセージをいただきました



娘がお世話になっているひまわり保育園では、お正月には獅子舞節分には鬼、クリスマスにはサンタと、季節ごとに様々な行事をして子供たちを楽しませてくださっています。給食もおやつも手作りで、七草がゆや水無月といった季節のメニューも取り入れ、毎月の誕生日会には旬のフルーツを使った手作りケーキが出ます。家では偏食な娘も保育園のご飯は「おいしい! 今日食べ終わるの一番やった!」と嬉しそうに話してくれます。また自分たちで種まき、水やりをして育てた野菜を使ってクッキングをしたり、体中泥まみれになって遊んだり、泡だらけになって洗濯ごっこをしたり、絵の具で大きな紙にペタペタと体全体を使ってぬたくり遊びをしたり、お野菜スタンプや小麦粘土、寒天粘土等、様々な素材を使った感覚遊び等、とても家ではできないような貴重な体験をたくさんさせてもらっています。さらに、天気の良い日には遠くまでお散歩に出かけ、公園で思いっきり体を動かしてくれています。保育園から天王山の麓まで、子どもの足で歩いて往復できることに驚きました。2歳~5歳の異年齢保育では、下の子は上の子を見て学び、上の子は下の子を思いやりお世話をするという、いい刺激、成長になるような保育をしてくださっています。先生方は皆さん、子供たちの話によく耳を傾け、お散歩の行き先や日々の活動を決める時にも子供たちの意見を尊重して一緒に話し合っていてくださっています。保護者のことも気にかけて下さり、毎日の日誌や、毎月のお便りで子供たちの様子を丁寧に伝えてくださるので、安心して子供を預けることができます。4月からは憧れのかぶとグループになる娘。たくさんの経験をして、ひまわり保育園のいいところをたくさん吸収して、自信を持って小学校に上がってほしいと思います。

